



S U S T A I N A B I L I T Y

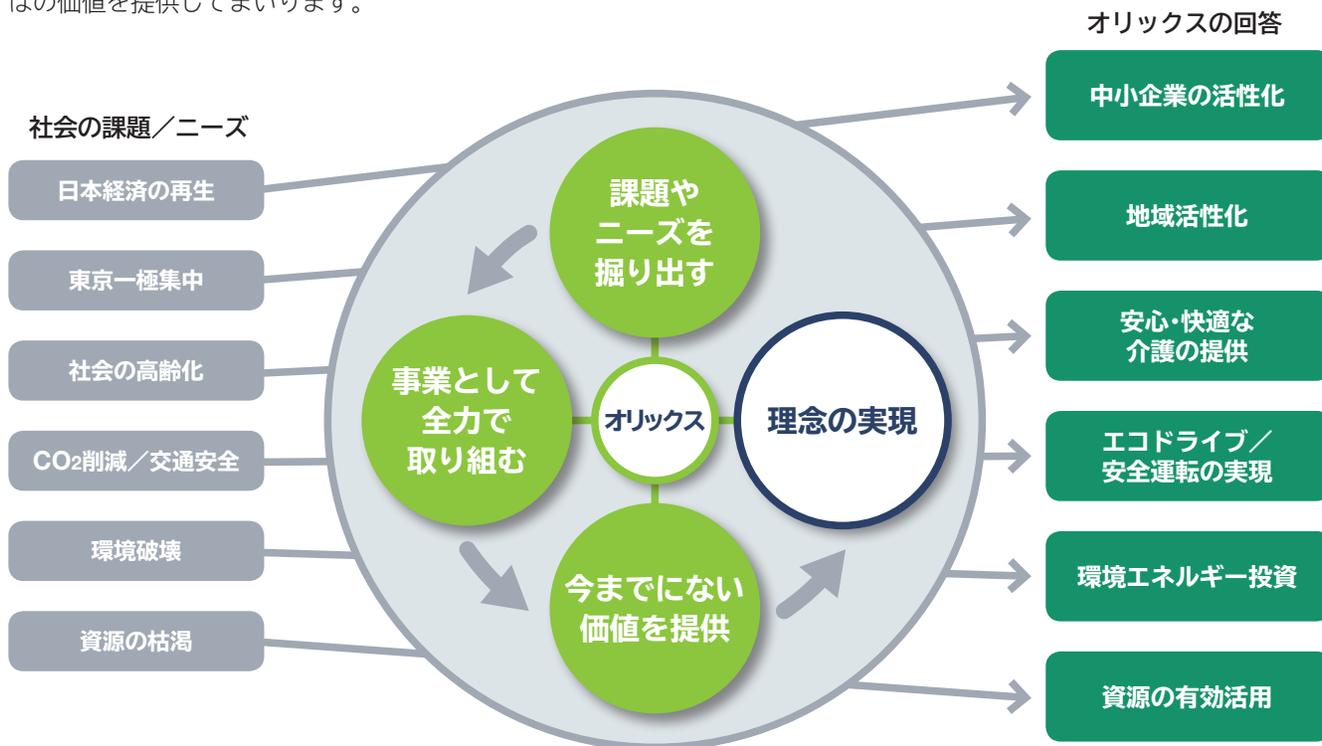
持続可能な社会、組織、環境のために



持続可能な社会、組織、環境のために

事業活動を通じた社会貢献

オリックスは、事業活動を通じて社会に貢献するという考えのもと、常に新しい価値を創造して社会に提供し、社会から必要とされる存在であり続けることを目指しています。今後も社会の課題やニーズに積極的に取り組み、オリックスならではの価値を提供してまいります。



企業理念

オリックスは、たえず市場の要請を先取りし、先進的・国際的な金融サービス事業を通じて、新しい価値と環境の創造を目指し、社会に貢献してまいります。

国連グローバル・コンパクト

オリックスは、国連グローバル・コンパクトが提唱する「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」の4分野10原則を支持し、各分野の活動に取り組んでいます。



人権	原則 1 : 企業は、国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重すべきである 原則 2 : 企業は、自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである
労働	原則 3 : 企業は、組合結成の自由と団体交渉の権利の実効的な承認を支持すべきである 原則 4 : 企業は、あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持すべきである 原則 5 : 企業は、児童労働の実効的な廃止を支持すべきである 原則 6 : 企業は、雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである
環境	原則 7 : 企業は、環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持すべきである 原則 8 : 企業は、環境に関するより大きな責任を率先して引き受けるべきである 原則 9 : 企業は、環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである
腐敗防止	原則 10 : 企業は、強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである

中小企業の活性化

日本を支える中小企業を さまざまな形でサポートしています

オリックスの主要なお客さまである中小企業は、雇用や技術力などを通じて日本経済を支えています。オリックスでは、お客さまの抱える経営課題やニーズに対し、ファイナンスに加え、グループの持つ幅広い専門性を提供して、中小企業の成長と活性化をサポートしています。

オリックスの提供するサポート例

- リース・融資等ファイナンス
- PC・各種機器のレンタル
- 海外進出支援
- 販売促進支援
- 車両管理アウトソーシング
- 太陽光発電システム導入・電力コスト削減などエネルギーサービス
- 事業再編・再生・承継ソリューション
- 退職金・企業年金・福利厚生ソリューション

お客さまの声 株式会社フンドーダイ五葉 営業本部 営業企画室長 宝亀 真佐儀 様

当社は、145年の歴史を持つ醤油味噌メーカーとシニア向けソフトフーズの新興企業が統合して、2014年6月に誕生しました。熊本県北部を中心とした6次産業化事業では、九州の野菜と高度な加工技術を組み合わせることで、より安全で安心いただける食品および農産物の提供を目指しています。オリックスとの取引は、2013年の熊本新工場の機械設備リースからと比較的新しいものですが、農業分野を新しい成長分野と捉えているオリックスからはさまざまな提案を受けており、今後の当社の成長を支えるビジネスパートナーとして大きく期待しています。

宝亀様(左)と
オリックス福岡支店の
宇埜涼子(右)



工場では九州野菜を使ったドレッシングを生産しています

地域活性化

事業を通じて地元での雇用創出や、 地域活性化に貢献しています

オリックスでは全国に1,358拠点を設け、各地でさまざまな事業活動を行っています。ファイナンスや、商品・サービスの提供だけではなく、自ら事業に取り組み、地元での雇用創出や地域活性化にも貢献しています。

例えば、旅館再生事業では各地の老舗有名旅館を支援しています。地元従業員の雇用を維持したまま、再生を図り、新規設備投資の実施やサービスレベルの改善による来館者の増加は、地域への観光客増加につながっています。

兵庫県養父市では、廃校を有効利用した完全人工光型の植物工場を運営し、過疎化する地方に新たな雇用を創出しています。工場では、外気を遮断した無農薬栽培を行うため、季節や天候などの影響を受けにくく、高効率で安定した生産が可能です。販売に関しては、オリックスの全国ネットワークを活用して取引先を開拓し、また、オリックスが運営する宿泊施設でも提供しています。



小学校の体育館を利用した植物工場



工場では人工光でレタスを栽培しています



4種類のレタスを出荷しています

持続可能な社会、組織、環境のために

安心・快適な介護の提供

新しい介護の常識を創造し、
安心で快適な暮らしを提供しています

オリックス・リビングでは、生活、介護、医療サービスを連携させた有料老人ホーム・高齢者の住まいを運営しています。介護される方の心身の負担や、介護職員の身体的負担の軽減を図るため、全拠点に介護リフトを導入するなど、新しい介護の常識を創造し、安心で快適な暮らしを提供しています。

また、介護現場の研究・開発・創造拠点となるオリックス・リビング イノベーションセンターを開設し、本当に求められている機器の開発から実証試験、介護現場への普及までを行い、高齢者の暮らしの質の向上に努めています。

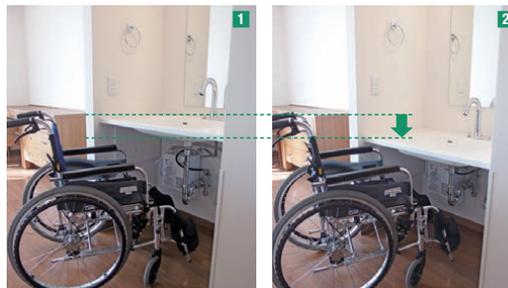
有料老人ホーム・高齢者の住まい 室数の推移



オリックス・リビング イノベーションセンターでの実証試験



介護リフト

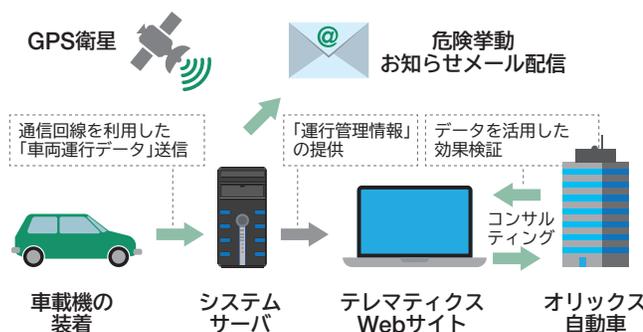


㈱シブタコと共同開発した昇降式洗面台

エコドライブ／安全運転の実現

テレマティクスサービスを通じ
エコドライブと安全運転を実現しています

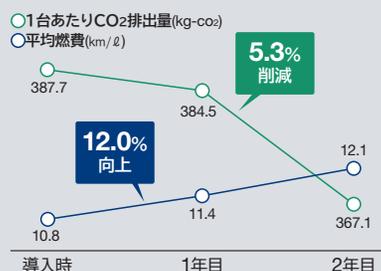
オリックス自動車提供のテレマティクスサービス「e-テレマ」は、コンプライアンス、環境、安全に配慮したコンサルティングサービスです。お客様の車両に専用の車載機を搭載して、運行状況を可視化します。また、取得データの運用方法からサービス導入の効果検証までのコンサルティングを行い、最適な車両使用から、適切な労務管理、事故の未然防止やCO₂排出量の削減までをトータルでサポートします。



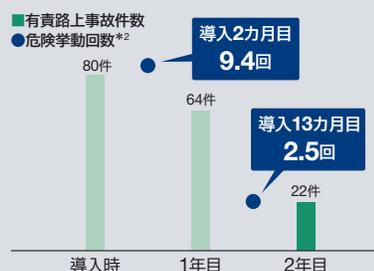
e-テレマ実績台数



e-テレマの環境効果例



e-テレマの安全運転効果例*1



*1 e-テレマを導入した13,000台の実績。 *2 車両1台あたり1カ月間の危険挙動(速度超過、急加速、急減速)の合計回数。

環境エネルギー投資

アジアの環境問題やエネルギー不足に貢献する 環境エネルギー投資を推進します

アジア経済は、世界の中でも高い成長を遂げている一方で、大気・水質汚染、電力不足、エネルギーや天然資源の非効率な使用など、世界の中でも深刻な環境課題に直面しています。

オリックスは、アジア開発銀行(ADB)、ロベコと共同で、アジアにおける環境に優しい低炭素化事業への投資を目的とし

たプライベート・エクイティ・ファンド「Asia Climate Partners (ACP)」を設立しました。ACPは、再生可能エネルギー、省エネルギー、水、アグリビジネスといった事業を営む企業を対象に投資を行っていきます。



アジア開発銀行 Todd Freeland 様

Director General of Private Sector Operations Department

ACPは、アジアにおける環境関連投資を促進し、投資家に魅力的なリターンを生み出す、革新的なプラットフォームであると確信しています。これは、ACPが、グローバルな資産運用会社であるロベコ、アジアで低炭素化投資を積極的に行っているオリックスおよびADBという3社それぞれの強みを生かせるファンドだからです。これら3社がACPにコミットするということは、ACPがアジアの環境関連投資で有数の投資ファンドとしてのポジションを確立できるということと、その投資戦略と期待リターンが素晴らしいものであるということを示していると考えます。

資源の有効活用

循環型社会の形成に向けたサービスを提供しています

オリックスでは、3R(Reduce, Reuse, Recycle)と適正処理サービスの提供を通じて、天然資源の消費抑制、限りある資源の有効活用、環境への負荷低減を進めています。

リース終了物件の処理業務により培ったノウハウと独自の全国ネットワークにより、お客さまの不用物の回収、リユース、リサイクル、適正処理に関するサービスをワンストップで提供しています。

千葉県にて運営する金属系廃棄物の中間処理施設では、OA機器や機械類から有用な金属資源を回収し、再資源化市場へ提供する金属商社や金属加工業の役割も担っています。

また、埼玉県とのPFI*事業として運営する廃棄物高度処理施設では、2,000度の熱で廃棄物を溶融し、完全に再資源化できるのが特長です。

廃棄物は、さまざまな工程を経て、アスファルト舗装の材料(スラグ)や融雪剤(工業塩)などに再資源化されます。また、溶融時に発生する合成ガスは発電燃料に使い、余剰電力は電力会社に売電しています。さらに、ダイオキシンは、自主規制値を法令規制値の10分の1以下に定め、極限まで発生を抑制しています。

* PFI: Private Finance Initiative。公共施設等に民間の資金やノウハウを活用して、民間主導で運営を行う手法。



廃棄物高度処理施設



再資源化された融雪剤(工業塩)



OA機器の解体・分別作業

持続可能な社会、組織、環境のために

価値創造の源泉「人財」

社員それぞれの能力・専門性を最大限に活かす

オリックスにとって、最も大切な財産は「人」です。国籍、年齢、性別、職歴問わず、多様な人材を受け入れることで多様な価値観や専門性による「知の融合」を図り、新たな価値を生み出すという考えのもと、社員それぞれの能力を最大限に活かせる職場づくりを目指しています。具体的には、働きがいのある職場づくりの一環として、多様な働き方を尊重し、社会情勢に先駆けた形で職場環境の整備、人事制度の改革を行っています。また、チャレンジする人にチャンスを与え、グローバルで活躍できる人材の育成を強化しています。



目指すべき人材像

多様な価値観や専門性を融合し新たな価値を生み出すために、社員一人一人の目指すべき姿として、以下の3つを掲げています。

1 Creativity

～絶えず新たなビジネスを自ら作り出す人材～

2 Challenge

～高い専門性を身に付け、チャレンジし続けられる人材～

3 Team Play

～多様な価値観を認め、周囲を巻き込みながら主体的に行動できる人材～

オリックスグループの表彰制度

年1回、通期の数値目標の達成度合いに加え、数字には表れてこないオリックスらしい工夫や協業、次の成長に結びつく新たなチャレンジをした部門を表彰しています。表彰時はトップマネジメントが受賞部門に向くため、社員との交流の機会にもなっています。2015年3月期は、最優秀賞3部門、優秀賞32部門を選定しました。



優秀賞を受賞したオリックス(株)滋賀支店

研修制度

多様な人材の可能性を最大限に伸ばす

大きく変化する事業環境の中で、オリックスグループの社員一人一人が個々の能力を最大限に発揮できるよう、さまざまな研修制度を設けています。

研修	目的	内容
階層別	人材マネジメント力・組織開発力の強化	年次・職位に合わせた基礎知識研修など
スキル習得	自己研鑽支援	ビジネススキル・業務上の専門知識講座など
選抜	経営力強化	海外派遣、異業種交流など
ダイバーシティ推進 (女性)	女性活躍推進	年次・職位別、ワーキングマザー向けのプログラムなど
ダイバーシティ推進 (シニア)	キャリアデザイン支援	50歳以上の社員向け キャリアデザイン研修など

参加者の声(選抜研修でニューヨーク大学の短期プログラムに参加)

地方支店から世界にチャレンジ

入社6年目、青森の八戸支店で営業をする中で、地元企業が海外進出する際の力になりたいと感じるようになり、英語を猛勉強して海外大学院短期留学プログラムに応募。2回目のチャレンジで機会を得ました。現在は、新興国への投資を手掛ける部署に所属し、今後の発展が期待されるモンゴルの金融会社への投資を皮切りにベトナム、インドなども担当。日々、オリックスのダイナミックさを体感しています。

オリックス㈱ 事業投資本部海外事業投資グループ 山路 新太郎



基礎データ

従業員構成比

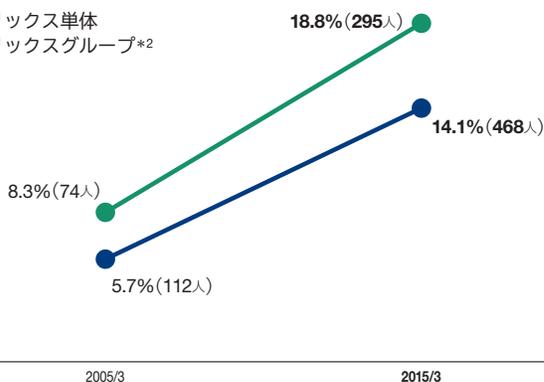
(2015年3月末)



	人数	割合
● 海外全体	6,727名	22%
● (うち海外女性)	(1,835名)	(6%)
● 国内全体	24,308名	78%
● (うち国内女性)	(7,690名)	(25%)
● 女性(全体)	9,525名	31%

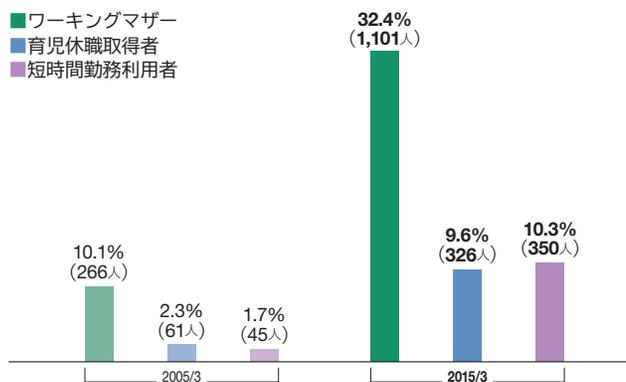
女性管理職推移*1

- オリックス単体
- オリックスグループ*2



ワーキングマザー推移*2,*3

- ワーキングマザー
- 育児休職取得者
- 短時間勤務利用者



*1 「女性管理職推移」における%は、管理職に占める女性管理職の割合。
 *2 オリックス㈱を含む国内主要グループ会社10社を対象とする。
 *3 「ワーキングマザー推移」における%は、女性正社員に占めるワーキングマザーの割合。

持続可能な社会、組織、環境のために

オリックスが目指す企業像

オリックスでは、「21世紀におけるExcellent Company」として、「オリックスが目指す企業像」を明確化した「EC21」を定めています。

EC21

Excellent Company

誇り

**市場に高く評価される新しい価値の創造によって
経済的なインパクトを生み出し、「誇り」ある活動を行う企業。**

企業の社会的な機能は、経済にプラスとなるものを世の中に向かって作り出すことです。これが企業本来の役割であり使命です。この使命をより高い次元で果たし、社会の役に立つこと、このことにオリックスは企業としての「誇り」を持ちたいと考えています。

信頼

**株主・お客さま・従業員などを含め社会の多様な期待に応える
高い能力と謙虚な姿勢を持ち、関係する人々から「信頼」される企業。**

企業の存在・発展を支え、かつ直接的に大きな関わりを持つのは、株主、お客さま、従業員をはじめとするステークホルダーです。
オリックスでは、ステークホルダーの皆さまからの期待だけでなく、社会の期待にも応えて、国際基準を超える企業を目指します。
おごらず謙虚な姿勢を保ち、さまざまな期待に応え、皆さまから「信頼」される企業になりたいと考えています。

尊敬

**社会的な規範を守り、公正かつ透明な活動を行う優れた社風を持ち、
社会との調和を保って、広く世の中から「尊敬」される企業。**

企業行動の中に社会的な規範に反する問題が起きれば、その企業に対する評価はすぐに崩れ去ります。法律を守ること以上のより高い基準で行動し、その基準をオリックスの成長とともに高めていくことで、広く世の中から「尊敬」される優れた社風を作っていきたいと考えています。

社会貢献活動 より良い社会へ



オリックス宮内財団



オリックス・
バファローズ



オリックス米国財団

企業活動ではカバーしきれない分野の支援

オリックスグループは、2006年に「オリックス社会貢献基金」を設立し(2010年公益財団法人に移行)、社会福祉、将来を担う子ども・青少年の支援、音楽・文化芸術などの分野において、さまざまな支援活動を行っています。

スポーツを通じて地域コミュニティ活動へ参加

オリックス・バファローズでは、小学校を中心に、地域コミュニティ活動の一環として、球団OBがプロスポーツ選手として培ったキャリアをもとに行うキャリア教育訪問授業や、テニール教室などを実施しています。

社員主導による慈善活動

ORIX USA Corporation(米国)は、2009年に非営利の慈善団体「オリックス米国財団」を設立しました。多くの社員が、さまざまな慈善プログラムやチャリティーイベントに参加しています。

環境保全活動 より良い地球環境へ



SANGO ORIX



えのすいECO



マングローブ
植樹プロジェクト

沖縄サンゴ礁再生プロジェクト

オリックス不動産は、サンゴ礁が持つ高い生物多様性の保持能力を守り、美しい海を次世代へ残すため、2008年に沖縄サンゴ礁再生プロジェクト「SANGO ORIX」を開始し、沖縄県海域でサンゴの移植活動を行っています。

海に隣接する水族館としてできること

新江ノ島水族館は、相模湾の生物や環境の多様性を伝える展示をはじめとした生物の生態を楽しく学べる場の提供や、ビーチクリーン活動、ECOキャップ回収運動の実施など、独自の環境活動「えのすいECO」に取り組んでいます。

台風をきっかけに植樹活動を開始

ORIX METRO Leasing and Finance Corporation(フィリピン)は、台風による被害をきっかけに、2012年よりサン・ミゲル湾沿いで地元の行政や若者とともに、マングローブの植樹活動を行っています。